

・各ブース集客人数

かき氷…102名 スーパーボール、ヨーヨー探り…45名
信楽焼の土の型抜き…16名 手裏剣ストラックアウト…13名
ハンドマッサージ、ネイル…12名 計 188名

【反省】

- ・事前に作成した「当日の準備について」の説明を実行委員が当日参加の各クラブアクターへ共有できておらず、実行委員長しか分からないことが多く、当日の準備がスムーズでなかった。
- ・アクトの日の趣旨である周知が甘く、アクトブースを積極的に使えず、当日の為に作ったアクト滋賀ゾーンのチラシ配布もおろそかになってしまった
- ・収益予想の大幅なズレ
- ・集客の告知など積極的に行ったが、当日のパルコへの来客者をイベント場所へ呼び込む工夫が無かった

【報告まとめ】

今回のアクトの日は集客力のあるイベント会場をお借りし、「祭」という題の元、皆が楽しく盛り上がり、イベント運営であるローターアクトクラブを知って頂くことが目的でした。アクター主催の各ブースへの来場者数が延 188名、アクトの木への添付物が 136枚、協力団体参加者 70名と来場者数の目標である 400名はステージイベントの観覧者や協力団体のブースへの来場者を含めずとも延 400名近い来場者数を集客できました。

最大の反省点は2点。まず、アクトの周知についてですが、今後アクトへ興味を持っていただけそうな大学サークルの皆様には今回作成したアクトの日のチラシをお持ち帰り頂けました。今後の改善点として当日のイベント運営だけに集中することなく、アクトの日の目的をアクター皆が心に留めたイベント運営を心掛けることが必要だと感じました。

2点目は当日のイベント運営についての準備不足です。実行委員が当日参加アクターへの協力内容を分かりやすい共有方法をとれなかった為に当日の準備がスムーズに運びませんでした。ゾーン内の各クラブが協力して運営するイベントだからこそ、事前の密な連絡と報告・決定内容の共有の徹底が重要だと考えます。

沢山の反省点が出ましたが、総評として、今回のアクトの日の開催にあたり各クラブを代表して実行委員となった者全てが、ゼロからイベントを創り上げるといった目標の中、自分たちに何が出来るかを真剣に考え、各クラブに持ち帰り、理事会にて自クラブ員とさらに内容を練り直し、自分達のやりたいアクトの日を実行出来るように、会議を重ね、今回共に活動させていただいた団体や、共に活動するに至らなかった様々な団体との交渉を行い、何度も会場に足を運び、当日の配置、スケジュールを組む等、一丸となり積極的に行動し、ゾーンが一つになれたと思います。また、当日の来場者様には笑顔で楽しんでいただき、協力団体の皆様からは「このような機会があれば、また呼んでください」と声を揃えていただきました。主催側のアクターが楽しく活動できたことも来場者の皆様に喜んでいただけた要因だったと考えます。今回、場所を貸して頂いた天津パルコの担当者様にも「盛り上がってたね」とお声掛けいただけたのでうれしく思います。

楽しい『祭』を運営させて頂き、ありがとうございました。